

## 【2020 年度重要課題】

- I. 「ドレス・コード？」展東京巡回の開催、及び海外巡回の準備・開催
- II. 次期特別展及び国内外美術館との合同企画による展覧会開催のための調査・研究
- III. KCI 中長期事業計画立案のための調査・研究

### 事業計画

1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開（デジタル・データを含む）

- (1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集
- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

- (2) 保存・修復

- 1) 収蔵庫内環境の安定的維持
- 2) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策

- 3) 収蔵品の補修

- (3) 公 開

- 1) 特別展「ドレス・コード？——着る人たちのゲーム」展の開催

[東京会場]

会場：東京オペラシティ アートギャラリー

会期：2020年4月11日（土）～6月21日（日）

主催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、公益財団法人京都服飾文化研究財団

協賛：NTT 都市開発株式会社

特別協力：株式会社ワコール

企画協力：京都国立近代美術館

協力：KLM オランダ航空、株式会社七彩、センクシア株式会社、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

助成：モンドリアン財団

展示：衣装 約 90 点

絵画、写真等 約 10 点

### 【企画概要】

服を着るという行為は、わたしたちが社会生活を送る上で欠かせない文化的営みのひとつです。そしてファッションは「着る」だけでなく「見る

／視られる」ものでもあり、そこには暗黙のルールや駆け引き、あるいはゲームにも似た自己と他者のコミュニケーションが存在します。  
また平成の30年間に社会は大きく変化しました。とりわけインターネットとSNSの急速な普及によって、私たちとファッションのかかわり方、そして自己と他者の関係性もこれまでにない変容を経験しています。その平成が終わり、次の時代を迎える今、本展ではファッションやアートのほか、映画やマンガなどに描かれたファッションも視野に入れながら、現代社会における新たな〈ドレス・コード〉、私たちの装いの実践（ゲーム）について見つめ直します。

2) 「ドレス・コード？」展のドイツ巡回

展覧会名：Dress Code: Are You Playing Fashion? (仮題)

会場：ドイツ連邦美術館（ボン）

会期：2020年9月22日（火）～2021年1月31日（日）

主催：ドイツ連邦美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団

企画協力：京都国立近代美術館

展示：衣装 約90点

絵画、写真等 約10点

3) 高島屋史料館「世界をひらく」展への出展協力

会場：高島屋史料館

会期：2020年1月20日（月）～4月5日（日）

主催：株式会社高島屋 高島屋史料館

貸出：飯田高島屋製輸出用室内着 計2点

4) ヴィクトリア&アルバート美術館「Kimono: Kyoto to Catwalk」展への出展協力

会場：ヴィクトリア&アルバート美術館

会期：2020年2月29日（土）～6月21日（日）

主催：ヴィクトリア&アルバート美術館

貸出：着物の影響を受けたドレス、洋装関連資料、他 計23点

5) 国立新美術館、島根県立石見美術館「ファッション イン ジャパン 1945-2020 流行と社会」展への出展協力

[東京会場]

会場：国立新美術館

会期：2020年6月3日（水）～8月24日（月）

主催：国立新美術館

[島根会場]

会場：島根県立石見美術館

会期：2020年9月19日（土）～11月23日（月・祝）

主催：島根県立石見美術館

貸出：日本人デザイナーによる衣装作品 約 30 点

- 6) 国立西洋美術館「スポーツ in アート展—ギリシャ彫刻×印象派の時代」展への出展協力

会場：国立西洋美術館

会期：2020年7月11日（土）～10月18日（日）

主催：国立西洋美術館、日本経済新聞社、NHK、NHKプロモーション

貸出：19世紀後半～20世紀初頭のスポーツウェア 計5点

- 7) KCIギャラリーにおける収蔵品展示

- ① 期間：2020年1月27日（月）～4月24日（金）

展示：「文字をまとう～服に表れた言葉～」

- ② 期間：2020年9月～12月（予定）

展示：未定

- 8) デジタル・アーカイブスの整備と公開

- ① KCIホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補

- ② KCIスタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開

- ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」（スパイラルにて設置）の公開および収録作品の増補

- ④ Google Arts & Culture への収蔵品情報提供及びWEB上で公開

## 2. 収集品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究

- (1) 戦後の着物産業に関する社会学的調査（科学研究費助成事業）

助成：科研費基盤研究（若手研究）（平成30-33年度）

テーマ：「戦後日本社会における和服の歴史社会学的研究」

研究者：小形道正

内容：終戦後から現在までの日本社会における着物との関わりについて析出するとともに、その変化から人間と衣服の理論的な関係性について問い直す。

- (2) KCI収蔵品及び現代ファッションの調査・研究

- (3) KCI収蔵品のパターンの研究・作成、レプリカの作成

## 3. 収集品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理

- (1) 収集品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進

- (2) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理

- (3) 収集品の予防的保存対策の整備及びその調査・研究の推進

- (4) KCI ギャラリーの設備・展示什器の整備
  - (5) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究  
範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査
4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布
- (1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影
  - (2) 学術研究誌への研究論考投稿。専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿
  - (3) 財団研究誌『Fashion Talks...』の発行、及び『Dresstudy』過去論考の KCI ホームページ上での公開
  - (4) 財団広報誌『服をめぐる』の発行、及びバックナンバーの KCI ホームページ上での公開
5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成
- (1) 大学等における服飾史等の講義
    - 1) 京都女子大学大学院 講義「生活造形学特別講義 A」 (前期)
    - 2) 京都精華大学 講義「ファッション史」 (前期)
    - 3) 甲南女子大学 講義「ファッション論」 (前期)
    - 4) 嵯峨美術大学 講義「ファッションデザイン論」 (前期)
    - 5) 日本女子大学大学院 講義「ファッション論」 (前期)
    - 6) 神戸学院大学 講義「ファッション社会学」 (後期)
  - (2) シンポジウム・講演・研究会等への参加
  - (3) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施
  - (4) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講  
会期：2020年8月17日(月)～21日(金)  
受講者：公募審査による約15名
  - (5) キュレーター及びレストアラー(修復技術者)の育成

- 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
  - 2) 収蔵品、新収蔵品の調査・研究
  - 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
  - 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
  - 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修
    - i. CIETA Technical Courses への参加
 

会場：Centre international d'étude des textiles anciens（リヨン）

日時：2020年3月30日（月）～4月10日（金）

出張者：松坂雅子

内容：2年2期にわたって開講される織組織の分析・分類について学ぶ研修コースの受講
  - 6) インターンの受入れ
6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施。これに基づく国際文化交流。
- (1) 展覧会の企画・出展協力
    - 1) 特別展「ドレス・コード？——着る人たちのゲーム」の開催
    - 2) 高島屋史料館「世界をひらく」展への出展協力
    - 3) ヴィクトリア&アルバート美術館「Kimono: Kyoto to Catwalk」展への出展協力
    - 4) 国立新美術館、島根県立石見美術館「ファッション イン ジャパン 1945-2020 流行と社会」展への出展協力
    - 5) 国立西洋美術館「スポーツ in アート展—ギリシャ彫刻×印象派の時代」展への出展協力
  - (2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換
  - (3) 時代マネキンの紹介
 

平成22年度に監修・開発した18世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以上